

ヒーローズ塾生のみなさん、保護者様方、こんにちは。

今、定期テスト真っ只中。中3受験生はもちろん内申点重視の岡山県にとっては定期テストもある意味、来るべき受験への受験勉強と言っているでしょう。中学生なった時点でもう受験勉強は始まっています。塾に通うのですから生徒さんは勉強を一生懸命に頑張っています。しかし、中には勉強ができていない人もいます。決して頭の回転が悪い訳ではないし、やらなければいけないことも分かってはいる。が、なんらかの理由でやる気が出ない…。勉強のことで塾の先生に相談ができるのなら、それがいちばん良いのは言うまでもない。こんなものを読むのはここでやめてすぐ相談。自分ではくたらないと思っているような悩みでも、迷わず話をしてほしいと思います。

勉強できないパターンは3つです。

### (1) 勉強できないパターン 「何をやったらいいかわからない」

もしも自分が受験生だったら、書店には行かず自分の本棚にある本からやる。そして塾のフォレストや必修テキストを解き直そう。じっくり丁寧に取り組むこと。極めることができる教材は、入試本番までだと各教科多くても2冊ぐらい。できない問題が絞れてきたら、まとめノートやカードに書写して何度も回すこと。1日、1ページでもいい。やるものを決めて日々淡々とやり、入試までに終わらせる。悩むことは必要だが、行動することはそれよりもずっと大切です。

### (2) 勉強できないパターン「今やっていることで本当によいのか自信が持てない」

あまりにも簡単すぎたり難しすぎたりする以外は、今やっていることは間違っていないです。自分のできないところともしっかり向かいあい、ちゃんと付き合うことで、テスト当日に力を発揮できます。小さくても良いからちゃんと結果を出すこと。例えばその日やったことを、次の日の勉強の最初にテストしてみる。以前より多少はできるようになっているはずだから、自分の成長を感じることができる。その手応えが自信になり、前に進む原動力になります。以前できなかったものに再度トライするのも同じ理由で効果的である。勉強の本質はできないところができるようになること。(1)の何度も回すことにつながってきます。

### (3) 勉強できないパターン「やる気が出ない。やろうと思っても始められない。」

真に魅力的な目標を持つこと。どうしても進学したい学校があり、今現在、合格に手が届きそうなら最高。しかし本当にやる気が出ないのは、合格まではかなり距離や学力差があるような場合です。半分あきらめながらでは学習に身が入らないのも無理はないです。

例えば、次の模試で判定を一つだけでもあげることを目標にする。自己診断テストで目標点を上回るなど、目に見える結果を出すことを目標にしてやる。次の模試を入試だと思ってもいい。この時期にやれることをめいっぱいやってほしい。

まず毎日の時間の使い方を考える。その日終わらせることを書き出し、確実に終わらせから就寝する。少しがんばらないと終わらないぐらいの量がよい。決めたことを終わらせることができると、良い達成感が得られてまたやりたくなる。テキストのページをやる期間の日数で割って、1日にやる分をこなしていく。やってみると分かるがやり終わるとけっこう気持ちの良いはず。可能な限り短期間で終わらせ、数回繰り返す計画になっていけば言うことはない。

逆説的になるが、やる気を出す最高の方法は、動き出すこと、行動すること。ある人によれば「人間は感情で動く」という。例えば一緒に合格したい友達、絶対負けたくない仲間、見返してやりたい先生、合格を喜んでほしい家族…。感情が大きく動くような動機は「人」であることが多い。いろんな意味でまわりの人たちを大切にしてほしい。勉強は自分のためにやるのではない。人のためにやる。人の役立つためにやるもの。そのためにみんなこの世に役割を持って生まれてきた。その役割を果たすためにも勉強は必要ですね。

## 現中3生、今年の高校入試から国語の聞き取り問題は無くなります。

聞き取り問題がなくなり、その分、作文などの問題ができることが有力視されています。(岡山県教) その点をふまえて、中3土曜補習では毎週社説の書写、要約や意見文を行っています。たとえば来年4月からの消費税アップ。あなたの意見を200文字でまとめられますか？まずは社説などの書写で正しい文章と旬な話題を学び、段落わけ、要点のまとめを繰り返して要約文にしていきます。最初は「だるい。」でしょう。でも来年に見据えて意味のあることです。日頃から文章を読むようにしましょう。

## 小6 中学受検フォローアップ講習

11月2日から毎週土曜(10時10分から12時まで12月7日まで計5回)スタートします。図形などを中心とした算数、資料読み取りの社会、面接のツボをもとに面接訓練を実施します。対象の生徒さんには別途、お知らせします。

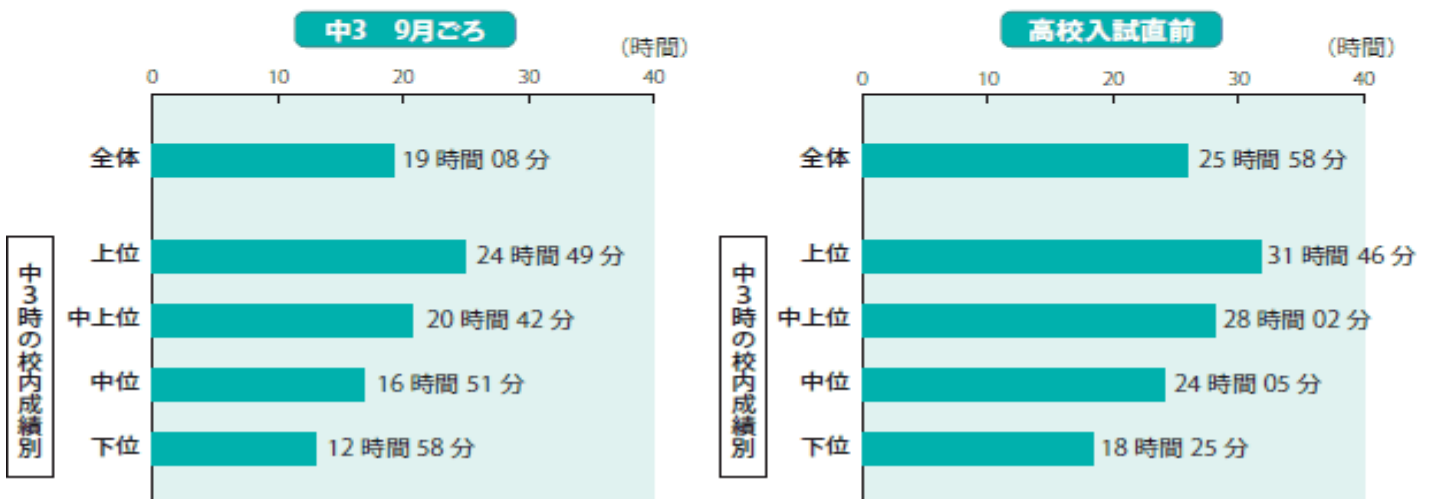
## 速読甲子園総合順位も38位でした。(中四国ブロック83教室)

7月15日から速読甲子園ご苦労様でした。7、8月の団体戦、9月の個人戦が終了しました。中四国ブロックでは10,138点の38位。弊塾内でも1から3位までは記念品を進呈します。

今回は勉強時間……。勉強できないパターンの話でした。実際、統計でも入試にむけて学習時間が増えるはずですが、残念ながら学習時間が増えない生徒さんもいるのも事実。

- Q** ・あなたは次の時期に、どれくらい勉強していましたか。学校や塾・予備校で授業を受けていた時間は除いて考えてください。  
・中3の9月以降、あなたは学習塾や予備校に行っていましたか。  
・(「行っていた」人にお聞きします。)1週間に何回くらい行っていましたか。学習塾や予備校の授業は、1回にどれくらいの時間ありましたか。
- 子ども**

図2-1 週あたりの勉強時間



⇒学校外での勉強時間は、中3の9月ごろと比べると入試直前のほうが長いのは当たり前。中3時の校内成績別にみると、上位の生徒さんの勉強時間は、入試直前で週あたり平均約32時間となり、1日4～5時間に相当する。しかし、下位の生徒さん週あたり平均で約18時間にとどまり、入試直前でもほとんど勉強しない生徒さんが1割近くもいる。ふつうは受験にむけて学習量を増やしていくが、一方では、最後までモチベーションのあがらない生徒さんもいます。こうならないようにちょっとした成果をほめてやってほしいですね。(統計はベネッセより)